

大会名 Competition	第30回 能代カップ 高校選抜バスケットボール大会
NO. M-106	Year Month Day Time 2017 年 5 月 4 日 9 : 00
場 所 Place	能代市総合体育館

発行：能代市バスケットボール協会
http://ncup.snowland.net



チームA		チームB															
市立船橋	<table border="1"> <tr><td>29</td><td>1st</td><td>21</td></tr> <tr><td>16</td><td>2nd</td><td>15</td></tr> <tr><td>31</td><td>3rd</td><td>24</td></tr> <tr><td>20</td><td>4th</td><td>23</td></tr> <tr><td colspan="3">E P</td></tr> </table>	29	1st	21	16	2nd	15	31	3rd	24	20	4th	23	E P			開志国際
29	1st	21															
16	2nd	15															
31	3rd	24															
20	4th	23															
E P																	
96 ○		83 ●															

主審:Referee 吉橋雅一 愛知
副審:Umpire 北沢あや子 宮城
田中直幸 秋田
テーブルオフィシャル:Table officials 能代高女子

No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F	No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F
4	×	保泉 遼	CAP	37	7	7	2	2	4	×	伊藤 領	CAP	5	0	1	3	2
5	×	庄司 理宇		3	0	1	1	2	5	／	中山 星磨		0	0	0	0	2
6	×	薬丸 侑平		15	1	5	2	0	6		高嶋 淳次		-	-	-	-	0
7	×	野崎 由之		33	5	8	2	3	7		山口 蓮		-	-	-	-	0
8	／	後藤 恵梧		0	0	0	0	0	8	／	四竈 純		0	0	0	0	0
9		浅沼 友惟		-	-	-	-	0	9	／	津田 優弥		4	0	1	2	0
10	／	前田 悟司		2	0	1	0	0	10	／	中澤 嶺		0	0	0	0	0
11		廣瀬 圭右		-	-	-	-	0	11		小栗 瑛哉		-	-	-	-	0
12	／	星野 怜		0	0	0	0	0	12	／	清水 瑠衣		0	0	0	0	0
13	／	楊 博		0	0	0	0	0	13	×	和田 蓮太郎		9	1	3	0	1
14	×	兼重 バトリック		6	0	2	2	4	14	×	JOOF YUSUF		35	0	16	3	1
15	／	三上 颯斗		0	0	0	0	0	15	／	BABACARR. S NYASSI		0	0	0	0	0
16		大澤 響生		-	-	-	-	0	16	／	小池 文哉		20	6	1	0	1
17		碓氷 真吾		-	-	-	-	0	17	×	吉川 瑠		6	2	0	0	3
18		大川 颯斗		-	-	-	-	0	18	×	相馬 迅		4	0	2	0	0
コーチ		近藤 義行						0	コーチ		富樫 英樹						0
アシ		井上 知徳						0	アシ		津野 祐樹						0
合 計				96	13	24	9	11	合 計				83	9	24	8	10

※×:スター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3P率 インシュート 2P:2P率 インシュート FT:フリースロー F:ファウル

Score ranking[Team]

1	37	38.54%	保泉 遼
2	33	34.38%	野崎 由之
3	15	15.63%	薬丸 侑平

1	35	42.17%	JOOF YUSUF
2	20	24.10%	小池 文哉
3	9	10.84%	和田 蓮太郎

Score ranking[Game]

1	37	保泉 遼	市立船橋	2	35	JOOF YUSUF	開志国際	3	33	野崎 由之	市立船橋
---	----	------	------	---	----	------------	------	---	----	-------	------

1Q、市立船橋は#4保泉、#6薬丸、#7野崎を中心に加点が続く。開志国際は市立船橋#14兼重のディフェンスによりインサイドまでボールが回らない。終盤には#16小池の3Pで加点するも、29-21の市立船橋リードで終了。

2Q、市立船橋は#14兼重のリバウンドにより攻撃回数を増やし、得点につなげる。開志国際は懸命に攻めるも流れをつかむことができない。45-36の市立船橋リードで前半終了。

3Q、開志国際#14YUSUFが今大会初のダンクシュートを決め、この後もインサイドでの加点が続く。一方で市立船橋も#7野崎の3Pが連続で決まり点差を広げ、76-60の16点リードで終了。

4Q、開志国際は#14YUSUFを中心とした攻撃で追い上げを見せるも、市立船橋の加点は止まらない。インサイドの徹底的な守りと高確率のシュート力により、96-83で最後までリードを守り切った市立船橋がこの試合を制した。